



さくらたより

令和3年度 学校だより
NO. 5
令和3年6月11日発行
山形市立桜田小学校

集うことの喜び

令和3年度がスタートして2ヶ月。1学期の半分以上が過ぎました。日常の授業・活動を止めないことを最優先にし、大きな行事等は中止・縮小やむなしです。今後も、ご理解、ご協力をお願いいたします。

日常の学校生活は、“学び”にあふれています。昨年の「休校」を思うと、子どもたちが集うことそのもの、学校で行っている教育活動全てが、「学びに向かう力」につながっているのだなあとしみじみ思います。

「学びに向かう力」って？

資質・能力の大事な要素である「学びに向かう力」。よく使われる言葉です。「非認知能力」という言葉もよく聞きます。が、なかなかイメージが湧きません。私が読んだ文章の中に、なるほどなあと思うものがありましたので、少々古い資料からの抜粋ですが載せてみます。

学びに向かう力は、非認知能力が大きく影響する。非認知能力とは、いわゆる試験等で測定できる能力ではなく、たとえば ○目標に向かってやり抜く力 ○忍耐力 ○仲間との協調性や思いやり などである。

非認知的な心の力

自己に関わる心の力

- ・自尊心＝自分を愛し、自分の性質や能力に自信を持つ
- ・自制心＝自分の衝動を抑え、自分の行動をコントロールする
- ・目標に向かってやり抜く力
- ・自立心＝自分の頭で考え、自分で決めて、自分の力で行動する

社会性〔他者との関係をつくって維持する力〕

- ・心の理解力 ・共感性 ・思いやり
- ・協調性 ・ルールや常識などを理解して守る力

*これらは、特別な働きかけで育つものではない。親をはじめとした大人と子どもとの、日常のごく当たり前の関係性の中で自然に培われる。特にアタッチメント＝「くっつく」ということは、自分と他者に対する基本的信頼関係の発達に、とりわけ大切な役割を果たす。

(出典；東京大学大学院教育学研究科教授 遠藤利彦氏『月刊日本教育2017. 9月号』)

大切な日常生活

どうでしょう。このように言語化されたものを読むと、私たちが営んでいる日常生活は全て「非認知的な心の力」につながっているのだと再認識できるのではないのでしょうか。

- ひらがながわかりずらすらと読めるようになった。勉強がわかる！（自尊心・自制心等）
- 時と場に応じ、静かに聞き、肝心な時に話をする（自制心・自立心・ルールを守る力等）
- 友だちと遊ぶ（ルールを守る力・自制心・自立心・協調性・共感性・自尊心等）
- 時間がきたら遊びをやめ、席について授業が始まる（ルールを理解して守る力・自制心等）
- 友達とけんかしたけどお互いに言いたいことを言ってわかり合えた（心の理解力等）
- 掃除は面倒だな。でも、後輩に教える立場だし、やらなきゃ（自制心・協調性等）
- 泣いている人のそばに行って事情を聞いてあげる（思いやり等）
- 教室を最後に出るとき電灯を消す（言われなくても、気づき、自分で決めて動く力等）

挙げればきりがありません。当たり前前の日常生活がいかに大切か。私たち教職員は、学校生活の大部分を過ごす「授業」を大切にすることはもちろん、授業だけでなく学校生活全てが子どもの成長につながっていることを自覚し、生活しています。安全で整理されたきれいな環境をつくり、達成できる目標を掲げ、励まし支援をし、できるようになったことを一緒になって喜び、時に厳しく叱り（全体も個も）、怠け心を戒め、言い争いの仲裁に入ってお互いの心を理解する手助けをし……。子どもたちがいる間、気を休めることなく日常の生活を刻んでいます。

個人面談 「これから」を話し合える時間に

昨年度から学習参観がないため、保護者の方々に子どもたちの学校での姿を観ていただくことができていません。「どうしているかな」と気になっていることでしょうか。直接観てはいただけませんが、子どもたちと私たち教職員は、上記のように日常を大切にしたり日々を過ごしていること、ご理解ください。

7月、保護者の方々との個人面談があります。子どもたちの成長を巡って、「学びに向かう力」や「目に見える学力（NRT結果や日常のテスト等）」など、これからどうするかを語り合う凝縮した時間になることを願っています。

いじめアンケート お礼

ご協力ありがとうございました。保護者の皆様からの文章、それぞれ重く受け止め、できることから素早く動いていきます。

保護者の方々からのアンケートと子どもたちが記入したアンケートを基に、今週、子どもたちの声を聞き取りました。人が集う日常生活では、少々「嫌だなあ」と思うことがあることは当たり前で、子どもたちからの訴えは多くあります。その中でも「これはお互いの関係がいびつになっていて、解決には大人の力が必要」と見抜くために聞き取りをしました。また、自分の何気ない行為が相手に苦痛を与えてしまっていたことに気がついてもらうためにも、担任が時間をかけて子どもと向き合いました。すぐに解決できる事例もあれば、保護者の方とじっくり面談を持って解決に向かわなければならない事例もあります。見極め、対処してまいります。

クラブ活動

心を重ね

自分から

「自分たち」がしたいことを「自分たち」で計画を立て「自分たち」で楽しんで活動することをねらいに、今年度は例年と同じようにスタートしました（昨年度は強い制限があり限定的な活動でした）。

やりたいクラブを考え、仲間を集め、「一緒にやろうよ」とPRし（今年度は新たに“動画”を撮影して事前に放送もしました）、PR会で4年以上が集まって最終決定しました。



この活動も「自分から」「心を重ね」につながっています。

数は少ないですが、好きなことで集まる仲間と、楽しく活動できることでしょう。

（写真：卓球クラブ）

7月行事予定

1日（木）登校指導・クラブ活動

2日（金）児童会委員会活動

5日（月）～8日（木）個人面談

11日（日）市PTA連合会

研修大会（テルサ）

*PTA事務局参加

15日（木）クラブ活動

16日（金）児童会代表委員会

21日（水）1学期終業式

22日（木）海の日（夏休み始まり）

〔夏休み；8月17日（火）まで〕

山形市合同音楽祭（10月実施予定）は「中止」

本校では4年生が歌声を披露する場として目標にしてきましたが、昨年度に続き今年度も「中止」の知らせが入りました。残念ですが、様々な機関・施設等の関係があるので早い判断となったそうです。4年生の歌声は、本校の学習発表会での披露になろうかと思えます。